



Rotary



**イマジン
ロータリー**

2022-23 年度 RI テーマ
**IMAGINE
ROTARY**
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報

例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2022-23 年度
会長：樽井 勉 副会長：渡邊博文 幹事：鈴木寿幸 副幹事：富澤賢一

例 会 第 1 4 9 5 回 通常例会/小杉苑

ソング 君が代、奉仕の理想 : ソングリーダー 古川賢吾君

■ 会長挨拶

樽井勉君



みなさん、こんにちは。

今年度は、「飲んで飲んで親睦を図る」を掲げています。

昨日、今年度 2 回目の夜間理事会後、親睦の輪を広げました。お猪口ではなく、コップ酒での楽しい宴会でした。

2 月 2 8 日は、I G M 6 班の鈴木照竟さんの所に参加する予定でしたが、急な青森出張が入り参加できませんでした。東海道、東北新幹線と乗り継いで着いた青森は暖かく 1 6 °C もありました。東北新幹線は、秋田、青森出張でよく使います。東北新幹線は、盛岡で秋田新幹線に乗り継ぐこともできます。秋田新幹線は面白く「踏切」を通ります。チンチンチンと遮断機が下りてくる線路を走ります。単線のところもあり逆走します。いわゆるスイッチバックです。話は戻って、帰路の東北新幹線「はやぶさ」の車中、ワゴン車が来ました。

「熱燗ある？」と聞くと「常温ならあります」と言うので、それをもらって飲みました。すると、辛口でうまい！ラベルを見ると「高清水」という秋田のお酒でした。ワゴン車のお姉さんに、「もう

1 本」と追加すると、またすぐに無くなりました。うまい！八戸から東京に着くまでに、お姉さんを 5 回程呼びました。本日は I G M 報告例会です。I G M で大いに飲んで盛り上がった報告を楽しみにしています。

■ 出席報告

村松章典君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
38 / 48 79.16%	38 / 48 79.16%

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○阿井君 ○植田君 ○内山君 ○江崎君 ○川口君
○桑原君 ○富澤賢君 ○富澤静君 ○瀧脇君 ○望月君

(2) メイクアップ者

小嶋英公君 (サッカー) 古川賢吾君 (RLI)

■ スマイルBOX

村松章典君

- ・結婚記念日プレゼントありがとうございます
五十年になります。 小林正敏君
- ・結婚記念日のプレゼント有難うございます。
空気のような存在の夫婦をめざしたいと思いま
す。 伊藤恒夫君
- ・63才のお祝いありがとうございます。毎日の
普通がうれしいと思える年になりました。
飯田敏之君
- ・プレゼントありがとうございます。自分の年
を忘れそうです。 竹田敏和君
- ・妻の誕生日プレゼントありがとうございます
樽井勉君

- ・お誕生日プレゼントありがとうございました
ゾロ目（66才）になりました。植田裕明君
- ・妻の誕生日プレゼントありがとうございました
大村和宏君

スマイル累計額 488,000円

IGM 報告



1班 森下傑君

今回、自分は IGM に初めて参加で緊張しながら行かせてもらいました。

1 班のメンバーは、富澤さん若林さん

渡邊さん杉浦さん村松さん テーマはクラブ自体が変わらないといけないか？という話でした。リーダーの杉浦さんの話から始まり約 30 分くらいで話は終わり後は飲み会でした。30 分の内容は富澤さんがポールハリスと友人 3 人でロータリークラブが始まった話しをしてもらい親睦か奉仕か、クラブの個性が大事、ボランティアではない、人づくりの場、平等 と公平は違うなどと色々な意見が出ました。結果親睦を大切に変わらなくいいと言う意見でした。

杉浦さんから手帳に話をメモするようにとアドバイスを頂きメモを一生懸命書いたつもりが手帳を次の日に見ると殴り書きで読み取れる文が少なかったです。

しかしみんな酒を飲んで楽しく話が出来た事が親睦なのかなと自分は思いました。

2 次会のカラオケ 杉浦さんのお嫁サンバ、渡邊さんの松山千春、村松さんのダンス最高でした。IGM の会がすごく楽しかったです。以上です。



2班 大村和宏君

2月20日の月曜日に行われました。

メンバーは富澤賢一リーダー、朝比奈潔さん、佐野芳正さん、樽井勉会長、中山恵

喜さん、松浦正秋さんと私、大村でございます。当日は日本酒党に囲まれ、美味しい日本酒をたくさんいただきました。

私は元々日本酒好きで、私の社会人としての滑り出しは銀座に隣接した新富町でしたが、その隣接した銀座に日本名酒協会なる、地方の名酒を流通させようとした会ができたこともあり、全国各地の名酒を頂いておりました。

思えば、仙台の一ノ蔵に始まり、一時味が落ちてからは、まだまだメジャーではなかった朝日酒造さんの久保田にはまり・・・

残念ながら、最近はずいぶん弱くなってしまい、普段は日本酒は避けております。

ご案内のとおり、主に杉錦を頂いていたのですが、若かりし頃は存じ上げず、当クラブにお世話になってからの味でございます。

ほんとかウソか確認はしておりませんが、祖母より遠い親戚であると聞かされておりました県内の酒蔵さんのお酒は、若かりし頃、よく頂いておりました。

ところが、先に申しました通り全国の美味しいお酒を頂くようになってからというもの、残念ながら離れておりました。

昨年、従業員が酒をもらったけど自分は飲まないから大村さんどうだ？ということでお酒をいただきました。

そのお酒でございました。

しばらく自宅の片隅に貯蔵しておりましたが、ある時頂いてみましたらとても美味しく、「きつといまいちだろうなあ〜」と決めつけていた自分を恥じました。」

不易流行

「不易(ふえき)」は、「いつまでも変わらないこと」を意味し、「流行(りゅうこう)」は、「時代時代に応じて変化すること」を意味するそうで、不易流行といった場合は、「新味を求めて変化を重ねていく流行性が、不易(いつまでも変わらないこと)の本質だ」という意味でもあるようです。

新味を求めて変化を重ねるといのは、常に新しいものだけに目を向けるというのではなく、過去にとらわれることなく、今あるものを取り入れて見極めるということでもあるのか？と思った次第でございます。

やはり、皆さんと多くの話をする事は大事ですね。

少々短いですが、IGM の報告とさせていただいき、コロナの早期終息を祈念しつつ、終了させていただきます。

お時間を頂きありがとうございました。



3班 小嶋英公君
第三班 鈴木寿幸
リーダー 阿井誠
サブリーダー 小池吉久 伊藤彰彦
渡邊芳隆 鈴木健夫
小嶋英公

我々第3班は楽しく飲みながら「不易流行」についてディスカッションを行いました。

不易流行とはわかりやすく言うと、いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこととなります。

俳聖松尾芭蕉が「奥の細道」の旅をする中で体得した概念だと言われています。「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず」というものです。「不易」は、いくら世の中が変わっても変わらないもの、変えてはいけないもの、「流行」とは世の中の変化とともに変わっていくものという意味です。

また「不易流行」と同じような言葉で「温故知新」もありますが、昔について調べることで新たな見方や知識を得ることを指す言葉です。つまり、歴史や古くからの監修を学ぶことにより、新しい何かを発見するということを意味します。

「不易流行」も「温故知新」もどちらも古いものを大切にするという精神は同じかと思えます。しかし、新しいものを発見するために古いものを大切に「温故知新」と、古いものを大切にしつつ新しいものを外から取り入れる「不易流行」とでは、少々新しいものを取り入れる方法が違うのではないのでしょうか？

また「温故知新」は新しいものよりは古いものを重視していますが、「不易流行」は新しいもののほうに注力している点が違うのではないかと思います。

そして、その言葉を知る、その行動を行う為には対義語を知ることが重要ではないかとの意見がでましたので少し調べてまいりました。

「不易流行」の対義語は逆の意味で使われる言葉として、次の2つがありました。

- ・万代不易 ばんだいふえき
- ・一時流行 いちじりゅうこう

【対義語1】万代不易（ばんだいふえき）

「万代不易（ばんだいふえき）」とは、常に古いという意味です。万代とは「いつまでも」や「永久に」という意味があるので、「万代不易」と繋げる

ことで、いつまでも変わらずに古いこと、価値観や状態が変化しないことを指します。

万代のほかにも、「千古（せんこ）」や「万世（ばんせい）」も同じく永久にという意味がある言葉です。不易とつなげて、「千古不易」や「万世不易」と表現することもあるそうです。

【対義語2】一時流行（いちじりゅうこう）

「一時流行（いちじりゅうこう）」とは、そのときだけ流行すること、もしくはその時代の好みを反映した一時的な新しさを指す言葉です。「不易流行」とは異なり、新しさから永続するものや価値観を得るニュアンスはありません。

「一時流行」も実は俳諧を由来とする言葉で、現代の流行を察知して取り入れることで、世の中に合わせて変化していくことも意味します。

「不易流行」という言葉は、昔から変わらないものを理解して基礎を作り、その上で、新しいものを積極的に取り入れて考え方などをアップデートさせることを意味します。芭蕉が唱えた俳諧の極意のひとつでもあります。普段の生活にも使える優れた言葉です。

人間としての本質は変えず、その時代に応じた正しい価値観を身につけることで、より良い人間に成長することができます。ぜひ日常生活にも「不易流行」という言葉を取り入れていくことが必要なのではと、意見が出てきました。

新しい価値観を身に付けるために、この原稿も chatGPT という AI 技術を使用して作成し加筆修正してみました。



4班 笠原大輔君

4班は2月16日に会議を行いました。冒頭から酒席での意見交換となりましたが、議題に対して出席された皆様から以下の

ようなご意見をいただきました。

◆残していくべきもの

- ・親睦
- ・1業種1人の考え方を大切にしていきたい
- ・その年に与えられた役割を頑張りましょう

◆変えていくべきもの

- ・社会奉仕（職業奉仕の考え方を大切にしたい）
 - ・外部卓話を充実していきたい
- 会議の中でなぜ「ロータリー」という名前が付

けられたのかを教えてくださいました。会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所で開いたことから名付けられたとのことです。

集会とはいっても主にお互いの家族を交えたパーティーのことで、パーティー（食事会）の終了後に会員どうし葉巻を吸いながら（シガータイム）社会経済また互いの会社の状況などの情報交換を行ったようです。

今日の会議の最初からずっとシガータイム中の高杉さん、飯田さんと一緒に私もシガータイムに参加しようかとも思いましたが、年初の書初めで今年の目標を「禁煙」としましたので、シガータイムはお酒のみのお付き合いとさせていただきます。

第4班メンバー、最後まで有意義な情報交換をできましたことを報告させていただきます。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
3/10(金) 第1496回	IGM 報告	小杉苑
3/17(金) 第1497回	会員卓話	小杉苑
3/24(金) 第1498回	PETS 報告	小杉苑
3/31(金) 第1499回	早朝例会	

今週の一言

鈴木照寛君



時はバブル経済末期、「私をスキーに連れてって」の大ヒットもあり、世の中はスキーブームでした。学生だった頃、

いつか自分もスキーをしてみたいと思っていました。その後、大学を卒業して成田山新勝寺の職員僧侶として奉職しました。手にしたのは給料と公休です。2月と3月のお休みは、ほとんどスキーに費やしました。東京から夜行スキーバスで行ったこともありましたが、多くは仲間の四駆で長野や新潟、山形など各地へ行きました。しかし、仲間内でも予定を合わせることが大変で、もっと気軽にスキーを楽しみたいという思いで船橋市に出来た SSAWS（ザウス）へ行きました。成田から30分ちょっとで行けて大変便利、コース、雪質共に室内スキー場としては言う事無し、しかし混雑と料金の高さに驚き、数回しか行けなかったのは、今となってはいい思い出です。そんなザウスも平成14年(2002)に閉館し、その跡地には現在IKEAになっています。

ちなみに藤枝に帰ってきて20年、一度もスキーをしていません。

パーフェクト例会

欠席者は事前連絡をお願いします



月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	7~2月 累計	3月3日		
	累計	累計	累計	累計	累計	累計	累計					
例会時 食事	準備数	201	81	171	130	132	187	111	123	1136	準備数	40
	提供数	198	77	169	129	130	184	109	122	1118	提供数	40
	食事残	3	4	2	1	2	3	2	1	18	食事残	0
	達成率	98.5%	95.1%	98.8%	99.2%	98.5%	98.4%	98.2%	99.2%	98.4%	達成率	100%

パーフェクト例会数 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

おめでとうございます！



(担当／杉山君)